

## 事後評価シート

【評価年月】 平成17年 4月  
 【主管課・室】 水環境部地下水・地盤環境室  
 【評価責任者】 地下水・地盤環境室長 志々目 友博

### 施策名、施策の概要及び予算額

施 策 名	- 5 地盤環境の保全
施 策 の 概 要	<p>地盤沈下の防止を図るため、工業用水法、建築物用地下水の採取の規制に関する法律を施行するとともに、関東平野北部等では閣議決定による地盤沈下防止等対策要綱に基づき、地下水採取目標量の遵守、代替水源の確保等総合的な対策を推進する。また、全国の地盤沈下の状況を把握するために地盤沈下の監視等に対する支援を行う。</p> <p>地下水位の回復など適正な地下水位の確保に努める。</p>
予 算 額	100,077 千円

### 目標・指標、及び目標の達成状況

目 標	地盤沈下を防止する。
達成状況	<p>都道府県等の行う地盤沈下の監視測定に対し補助を行い、測定結果を集計し公表した。</p> <p>地域の地下水管理や地下水保全計画の策定を支援することを目的として、モデル的な地域を選定し、適正な地下水位等を確保するための管理手法について検討を行った。</p> <p>地盤沈下については、近年全国的には沈静化の傾向にあるものの、一部地域において沈下が見られ目標の達成に至っていない。</p>

下位目標1	渇水時を含め地下水採取による地盤沈下の防止及び地下工事による地盤沈下を防止する。				
指 標	H13年度	H14年度	H15年度	目標値	H - 年度
年間2cm以上の地盤沈下面積(k㎡)	28	461	3		0

参考指標	H12年度	H13年度	H14年度	目標値	H - 年度
地下水採取量(要綱地域の合計) (億m <sup>3</sup> /年)	7.2	7.2	6.9		
達成状況	<p>地盤沈下は、近年全国的には沈静化の傾向にあり、2cm以上沈下した面積は平成14年度の461km<sup>2</sup>から平成15年度は3km<sup>2</sup>へ減少したものの、目標の達成には至っていない。</p> <p>図 全国の地盤沈下地域の面積(年度別推移)</p>				

下位目標2	地下水位を回復し、湧水の復活を図るとともに適正な地下水位の維持に努める。				
参考指標	H14年度	H15年度	H16年度	目標値	H - 年度
地下水位の測定本数(本)	492	511	509		
達成状況	地域の地下水管理や地下水保全計画の策定を支援することを目的として、モデル的な地域を選定し、適正な地下水位等を確保するための管理手法について検討を行った。				

### 評価、及び今後の課題

評価	<p>【必要性】(公益性、官民の役割分担等)</p> <p>地盤沈下は典型7公害の一つに位置づけられており、建造物の損壊や洪水時、高潮時の浸水増大などの被害をもたらすことから、地盤沈下を防止し、地盤環境の保全を図ることは高い公益性を持つ。</p>
----	---

	<p>【有効性】(達成された効果等)</p> <p>工業用水法及び建築物用地下水の採取の規制に関する法律に基づく地下水揚水規制等を実施した結果、一部地域において地盤沈下は確認されるものの、全国的には地盤沈下は沈静化するという効果が得られた。</p> <p>【効率性】(効果とコストとの関係に関する分析等)</p> <p>地盤沈下対策については、地方公共団体が監視に努め、地盤沈下状況を的確に把握した上で、工業用水法等により地下水の採取規制を行うなどの対策を実施するとともにその効果を確認しており、効率的な施策であると判断できる。</p> <p>&lt;目標に対する総合的な評価&gt;</p> <p>地盤沈下は、全国的には沈静化の傾向にあり、目標の達成に向け進展している。</p> <p>一部地域において地盤沈下が確認される他、都市化による不浸透域の拡大に伴う浸透機能の低下、渇水時の地下水揚水量の増加や地下開発による地盤沈下の潜在的な危険性があり、引き続き全国の地盤沈下の状況を把握し地盤環境保全のための施策を講じていく必要がある。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>地盤沈下を更に沈静化させるため、次のことが課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水に関する情報の整備</li> <li>・地下水管理手法の開発</li> <li>・地盤沈下対策の再評価及びこれを踏まえた新たな地盤環境管理方策の検討</li> <li>・深層からの地下水採取による地盤環境への影響把握</li> <li>・地下水を利用したヒートアイランド対策による地盤環境への影響評価等に関する知見の集積</li> </ul>

**政策への反映の方向性**

反映方向分類	理由の説明
1	<p>適正な地下水位の確保等を図るため、地下水の有効利用を含めた管理手法を開発し、地域の地下水管理や地下水保全計画を支援する必要がある。</p> <p>地下水・地盤環境の保全を図るため、これまでの地盤沈下対策を再評価し、地盤沈下の監視の充実等を含む新たな地盤環境管理方策を検討する必要がある。</p>

**特記事項**

--

【別紙】

事務事業シート

施策名	- 5 地盤環境の保全	
施策共通の主な政策手段等		
事務事業名 (関連下位目標番号)	事業の概要	主な政策手段等
地盤沈下対策の推進 (下位目標1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤沈下の進行がみられる地域等における水準測量及び地下水位の測定等への補助。</li> <li>・地盤沈下防止等対策要綱の実施状況、問題点等の把握を行うとともに、渇水時の地盤沈下、年間目標採取量の設定等について検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用水法</li> <li>・建築物用地下水の採取の規制に関する法律</li> <li>・地盤沈下監視測定費補助 (36百万円)</li> </ul>
地盤環境、水循環に係る施策の推進 (下位目標2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な地下水位の確保等を図るため、地下水の有効利用を含めた管理手法について検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な水循環の構築に向けた地下水管理手法調査 (50百万円)</li> </ul>

【別紙】 政策効果把握の手法及び関連指標

(施策名) 1-5 地盤環境の保全 (下位目標1)	単位	現況値 (時点)	目標値 (目標年次)
(指標名) 年間2cm以上の地盤沈下面積	km <sup>2</sup>	3 (H15年度)	0 ( - )
指標の解説(指標の算定方法) 1年間に2cm以上の地盤沈下を生じた面積 (都道府県及び指定都市から水準測量に基づく報告を集計)			
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 平成15年度全国の地盤沈下地域の概況 (公開)	特記事項(外部要因の影響など)		
目標値設定の根拠 湧水時を除き沈静化(平成15年、4cm以上沈下した地域は1)しつつあり、目安として2cm以上の沈下面積を目標値とする。			

(施策名) 1-5 地盤環境の保全 (下位目標1)	単位	現況値 (時点)	目標値 (目標年次)
(参考指標名) 地下水採取目標量(要綱地域の合計)	億 m <sup>3</sup> / 年	6.9 (H14年度)	- ( - )
指標の解説(指標の算定方法) 年間の地下水採取目標量が定められている地盤沈下防止等対策要綱地域(濃尾平野、筑後・平野佐賀、関東平野北部)の年間地下水採取量の合計			
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 地盤沈下防止等対策要綱推進協議会資料(非公開)	特記事項(外部要因の影響など)		
目標値設定の根拠 -			

(施策名) 1-5 地盤環境の保全 (下位目標2)	単位	現況値 (時点)	目標値 (目標年次)
(参考指標名) 地下水位の測定本数	本	509 (H16年度)	- ( - )

<p>指標の解説(指標の算定方法)</p> <p>工業用水法指定地域など地盤沈下の監視が特に必要な地域において、地盤沈下監視のために地下水位を測定している井戸数</p>	
<p>評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別)</p> <p>平成16年度環境監視調査等補助金要望書(非公開)</p>	<p>特記事項(外部要因の影響など)</p> <p>-</p>
<p>目標値設定の根拠</p> <p>-</p>	